

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業の概要	事務事業名	中学校維持修繕					所管	教育委員会 庶務課		
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始] 年度	
		[小 柱]							[終了予定] - 年度	
		[施 策]								
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	台東区教育委員会事務局処務規則					
	事業対象	直接的な対象:区立中学校 最終的な対象:区立中学校在生徒								
	事業目的	中学校施設の維持と教育環境の充実を図るため、中学校施設の緊急小破修繕工事に対応する。								
事業内容	中学校施設を良好に維持管理するため、ガラス取替・校庭補修・防錆塗装・トイレ等排水つまりなどの応急復旧工事を実施する。									
委託の有無	なし		委託内容							
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (31年度)	26年度	27年度	28年度		
	活動指標	小破修繕等件数		件	-	125	110	118		
	成果指標									
	決算額 (単位:千円)					33,207	22,353	23,846		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				2,493	3,977	4,669		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				20,645	21,079	23,846		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				12,382	1,274	0		
		総経費				35,520	26,330	28,515		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0		
一般財源(区負担額)				35,520	26,330	28,515				
前回評価から改善した事項	なし									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	設置者である区の責務として工事を実施し、施設環境を補修、維持していかなければならない。							
	効率性	3	緊急的な小破修繕工事が主であり、安全性や緊急性を第一に工事の優先順位を決定し、必要に応じて工事手法の見直しや、繰り延べ等を行い、経費節減に努めている。							
	手段の適切性	3	施設の老朽化対策として、予防保全型の「施設保全」に対し、各学校で日々発生する設備の不具合については「事後保全」型として早急、適切に現状復旧している。							
	目的達成度	3	学校施設の緊急工事に最適に対応している。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			
限られた財源の中、学校施設の維持管理に努めている。						維持				